

あたって ご挨拶



東通村長 越 善 靖 夫

新年、明けましておめでとう
ございます。
平成二十三年の新春にあたり、
謹んでご挨拶を申し上げます。
村民の皆様には、平素から村
政の各般にわたり格別のご理解
とご協力を賜り、心より厚くお
礼申し上げます。

さて、中央の都市と違い、私
共地方の町村は、過疎化、少子
高齢化という状況下、依然とし
て回復の兆しの見えない経済不
況により、失業率の上昇、地域
産業の衰退や税収の減少など、
非常に厳しい状況が続いており
ます。

我が村の第一次産業において
は、農業は、春先の天候からす

ると、作況が大いに心配されま
したが、その後一転して、異常
とも思えるほど、気温が高く推
移し、また、直接的に台風など
の襲来もなく、水稲などの農作
物は、概ね良好な結果となりま
した。しかし、高温度に起因し
てか、一等米比率が非常に低く
なりました。肉用牛については、
景気低迷の影響、宮崎県での口
蹄疫の影響などから、価格は、
子牛は高め、枝肉などは低めで
推移しました。一方、漁業にお
いては、やはり、気温が異常に
高かったため、海水温が高く、
主力品種のいかなどは、不漁が
続き、鮭は、大型クラゲの来襲
は少なかつたものの、当初は不
漁が続きました。十一月中旬に
なつてから、いか、鮭共に漁獲
が幾分増え、ひとまず安心いた
しました。しかし、第一次産業は、
長引く景気低迷と共に、農業に
おいては、関税撤廃・TTP問題
が浮上し、国の戸別所得保障政
策と共に、村の基幹産業にも大
きな影響を与えかねなく、皆様
にとつては一層不安な年を迎え
られたものと存じております。

また、東通原子力発電所東北
電力一号機が営業運転をしてか
ら、事業者のご努力により、こ
れまで、安全に安定した運転を
続けております。こうしたこと
から、これまで、十三ヶ月以内
に一度定期点検が義務づけられ
ていたものを、国の新検査制度
により、運転期間が延長できる
こととなりましたので、事業者
は所定の手続きにより申請した
との報告がありました。事業者
に対しては、引き続き安全には
細心の注意をもって運転を続け
て頂きたいと存じます。

ところで、東京電力一号機は、
国による安全審査のため、本格
着工が先延ばしされておりまし
たが、昨年末に国の許可もされ
いよいよ本格的な工事が進んで
参ります。これまで、将来に希
望を抱く村民の皆様強い期待
を受け、原子力発電所との共生
を図りながら、単独での行政運
営を進め、更なる発展に向け、
各種基盤整備を進めている我が
村としては、極めて厳しい行財
政環境が続いている中において
は、再び先延ばしされることの
ないよう、国、事業者に対して
強く要請してきたものであり、
このことについて先ずは村民の
皆様にご報告申し上げます。

東通村は、農林水産業の振興
と、下水道などの生活環境改善
をはじめとした生活基盤の整備
充実にとり組んでおり、また、
教育環境の整備等の重要課題に
取り組んでおります。既に小学
校・中学校は一校に統合を果た
し、いよいよ、本年は、二十四
年四月の保育園開設に向け、建
物の建築に取りかかります。こ
の幼児施設の完成により、教育
環境デザインに基づく、幼・小・
中の一貫教育の実質的なスタ
トができるものであります。今
後とも、あらゆる角度からの教
育環境の充実に努めて参ります。
また、産業基盤の整備にあつ
ては、村産品の販売促進につ
いて、産地直接販売施設の具体
的な計画作りを進めておりまし
たが、本年はいよいよ施設の建
設に取りかかります。

更には、自然環境の保全、生
活環境の維持などを含む広い観
点からの環境対策についての具
体的な「環境デザイン」を策定
します。

この他にも、子育て支援対策、
人口定住促進などの、子どもを
育てやすい環境を整え、対処し
て参りたいと考えております。

当面、東通原子力発電所東京
電力一号機の運転が開始される
までの間、非常に厳しい行財政
状況は続きますが、村民生活向
上のために、職員一丸となり、
皆様のご理解を賜りながら、様
々な課題に対処して参りたいと
考えておりますので、引き続き
ご支援ご協力を賜りますようお願い
申し上げます。

皆様の今年一年のご多幸を心
よりご祈念申し上げます、新
年に当たつてのご挨拶と致しま
す。